



成丘だより

成増（なります）学びのエリア
（赤二中・成増小・成増ヶ丘小）



成丘小HP
二次元バーコード

板橋区立成増ヶ丘小学校
学校だより 7月号
令和7年 6月30日
校長 高野 剛一

5・6年生の移動教室の姿から

校長 高野 剛一

令和7年度が始まってから3か月が経とうとしています。子供たちは、1学期のまとめに向けて、暑期中、毎日がんばっています。

さて、本校では、6月に5年生と6年生が宿泊を伴う移動教室に行ってきました。その移動教室での子供たちの様子についてご紹介します。

6年生は、6月2日（月）から4日（水）まで日光移動教室に行きました。「自律（正しい判断）・貢献（責任ある行動）・信頼（思いやりある心）」を目標にして3日間を過ごし、日光の歴史や自然について体験しながら学ぶことができました。生活班には、班長、保健、食事、整頓、レクと5つの役割があるのですが、どの子も自分の役割に責任をもって仕事をやり遂げることができました。全体で集合するときには、5分前行動を意識することで、時間どおりに集合することができていました。また、宿舎のスタッフの方から、右の写真の靴箱の様子から「こんなにきちんと靴を揃える学校はなかなかないですよ。」とお褒めの言葉をいただきました。これは、子供たちが宿舎でどのように過ごすべきかを考えた行動として、すばらしい成果の一つとなりました。



5年生は、6月24日（火）から25日（水）まで倉淵移動教室に行きました。「責任・協力・感謝」を目標にして、様々な体験をしながら初めての宿泊学習に取り組みました。目標の中の特に協力と感謝についてがんばる姿がたくさん見られました。体調の悪い子に「大丈夫？」と声を掛ける子や、ハイキング中、「がんばって！」と励ます子がたくさんいました。また、お世話になったバスや宿舎のスタッフの方々に気持ちの良い「ありがとうございました！」のあいさつをする子がたくさんいました。「5年生全員で時間を守る」「切り替えをすばやくする」ということについては、課題が残りましたが、2日間の中で少しずつできるようになってきたので、きっと意識をして行動できるようになったのだと思います。帰校式で学年主任の先生が、「意識するようになったことで、責任・協力・感謝の芽が君たちに芽生えました。これからその芽を枯らさないように成長していきましょう。」という話をしたとき、子供たちは疲れているにもかかわらず、皆真剣に聴いていました。



今回、子供たちは宿泊学習という学校では経験できない活動を通して、たくさんのことを学ぶことができました。この経験を活かして、自分で考えて行動できる「自走する子」に成長してほしいと思います。